

# アンケートについて

## 1 今年度実施するアンケートについて

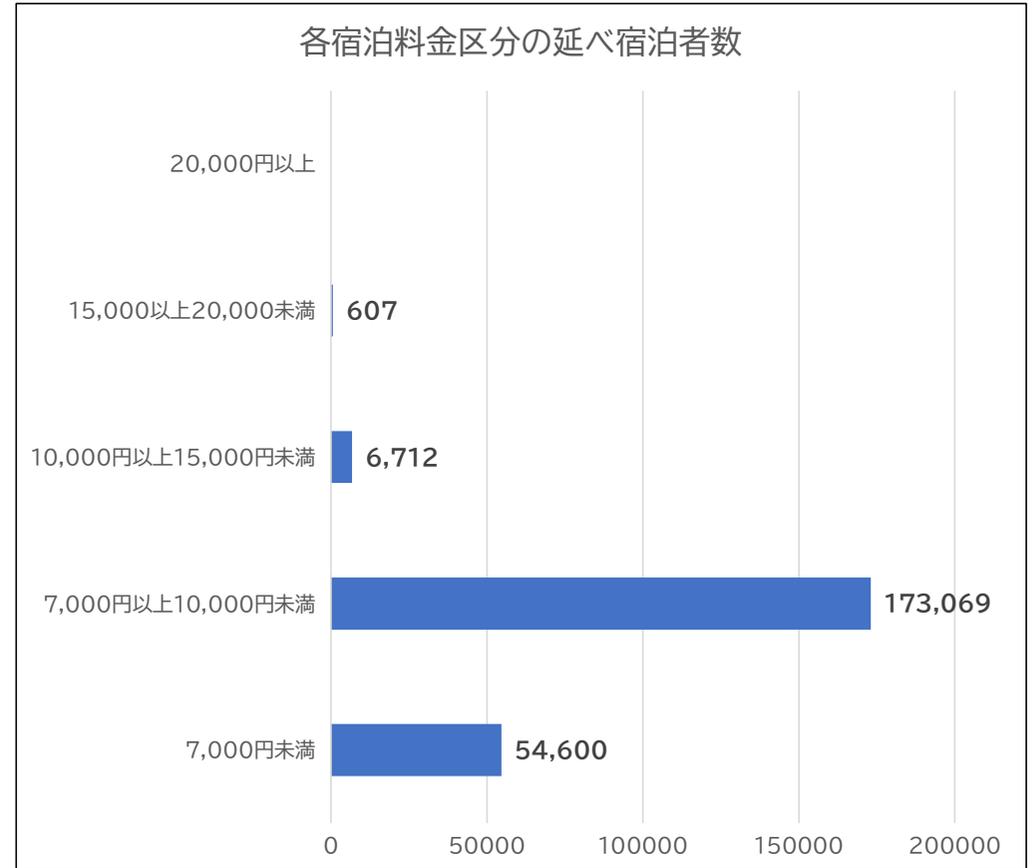
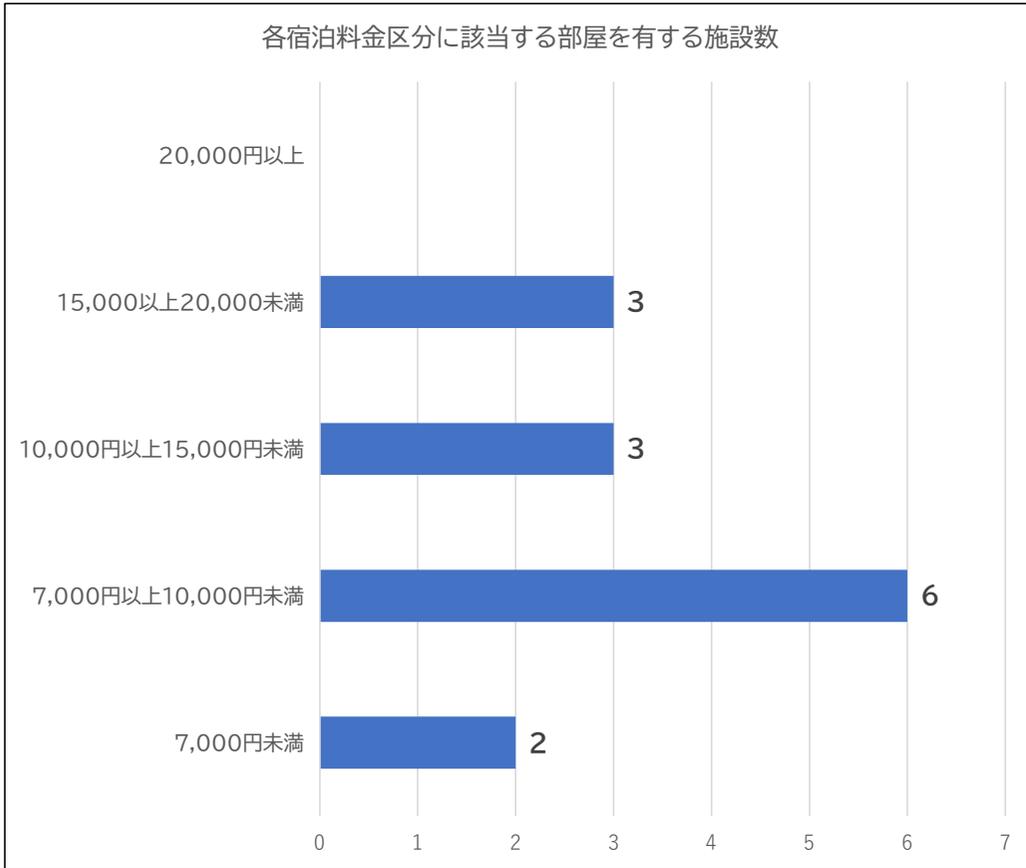
- 昨年度は、町内の宿泊事業者のうち、一部のホテル事業者7社に対して、宿泊事業者向けアンケート及び宿泊者向けアンケートを実施しました(結果は後述のとおり)。
- 今年度、宿泊税の導入を本格的に検討するにあたって、町内の全宿泊事業者(全24社)及びその宿泊者を対象として、質問の選択肢を精査するなどの修正をしたうえで、再度下記のとおりアンケート調査を実施することを予定しています。

対象:町内の宿泊事業者及び町内の宿泊者

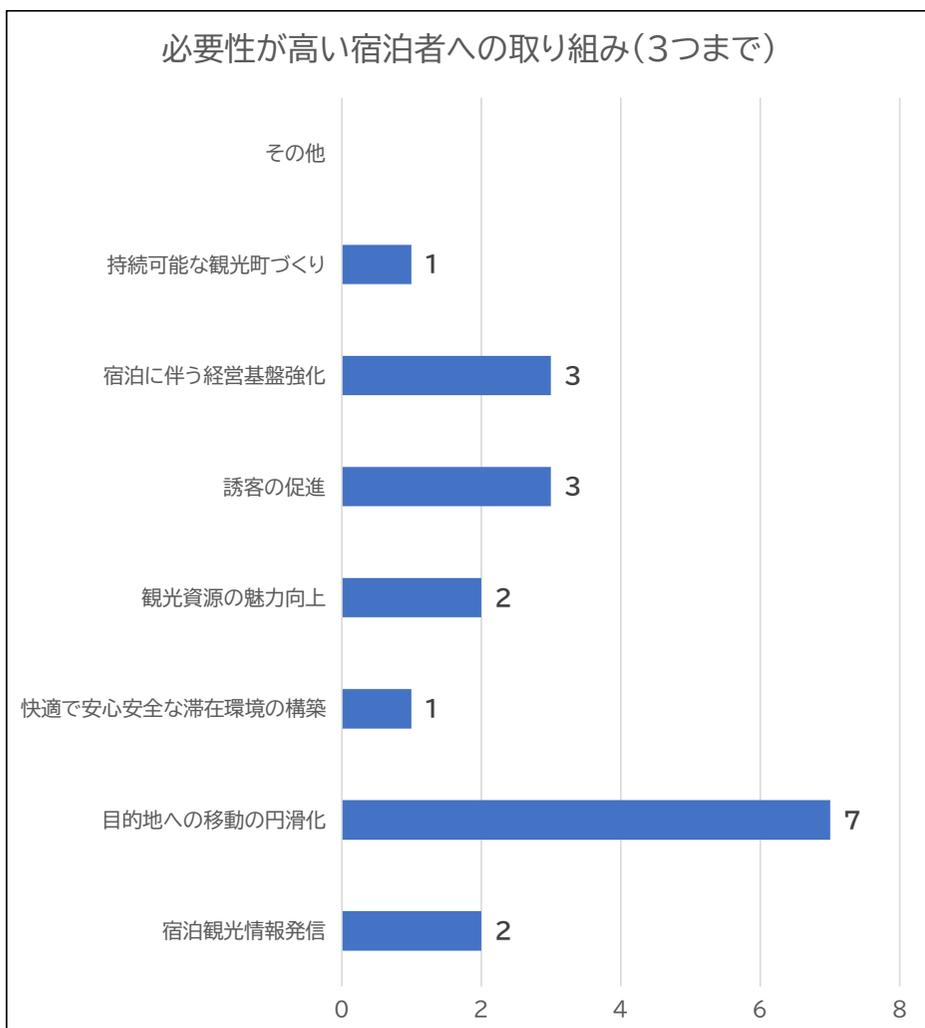
期間:令和7年8月下旬以降

質問項目:別紙のとおり

令和6年度 宿泊事業者へのアンケート結果 ■ アンケート期間：令和6年11月26日から12月12日 調査対象 7社



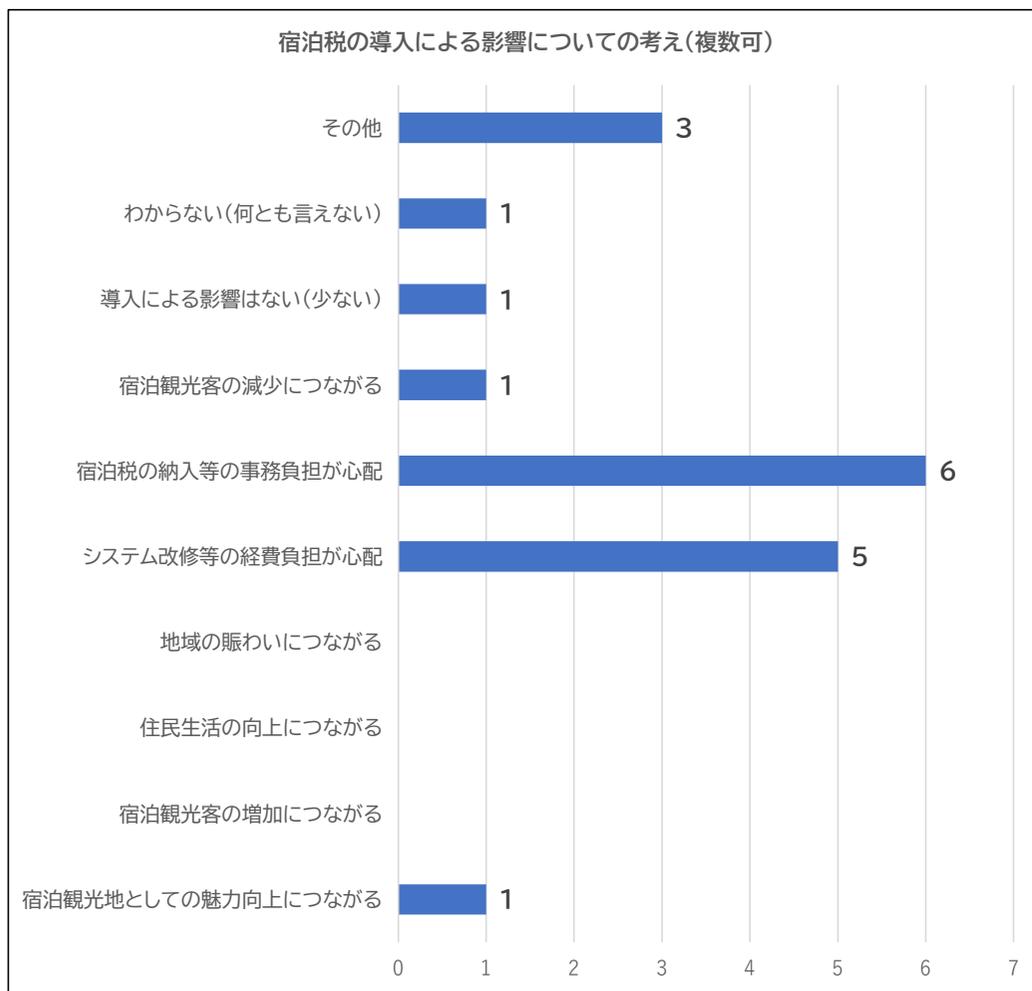
## 宿泊事業者へのアンケート結果



### ●必要性についての自由意見

- ・交通が不便である。(目的地まで移動の円滑化)
- ・海外のお客さんが楽しめるものがない。  
(観光資源魅力向上)
- ・レンタカーの取り扱いが天津町でも有れば良いと思います。  
(目的地までの移動の円滑化)
- ・日中ゆっくりお過ごし頂ける施設、会議室等をご案内できる様にして欲しい(観光資源の向上)
- ・大人数収容出来る飲食店やカフェを希望します。(産業の経営基盤強化)
- ・タクシーを増やしてください(移動の円滑化)
- ・阿蘇熊本市から九州の観光としての拠点としてブランドを造ることが必要と考えています(誘客の促進)
- ・宿泊者が楽しめる飲食店が多い程、宿泊先として選ばれる町になると思います(産業の経営基盤強化)
- ・シェアサイクル(移動の円滑化)
- ・ホテル⇄駅、ホテル⇄空港の送迎便が有れば良い

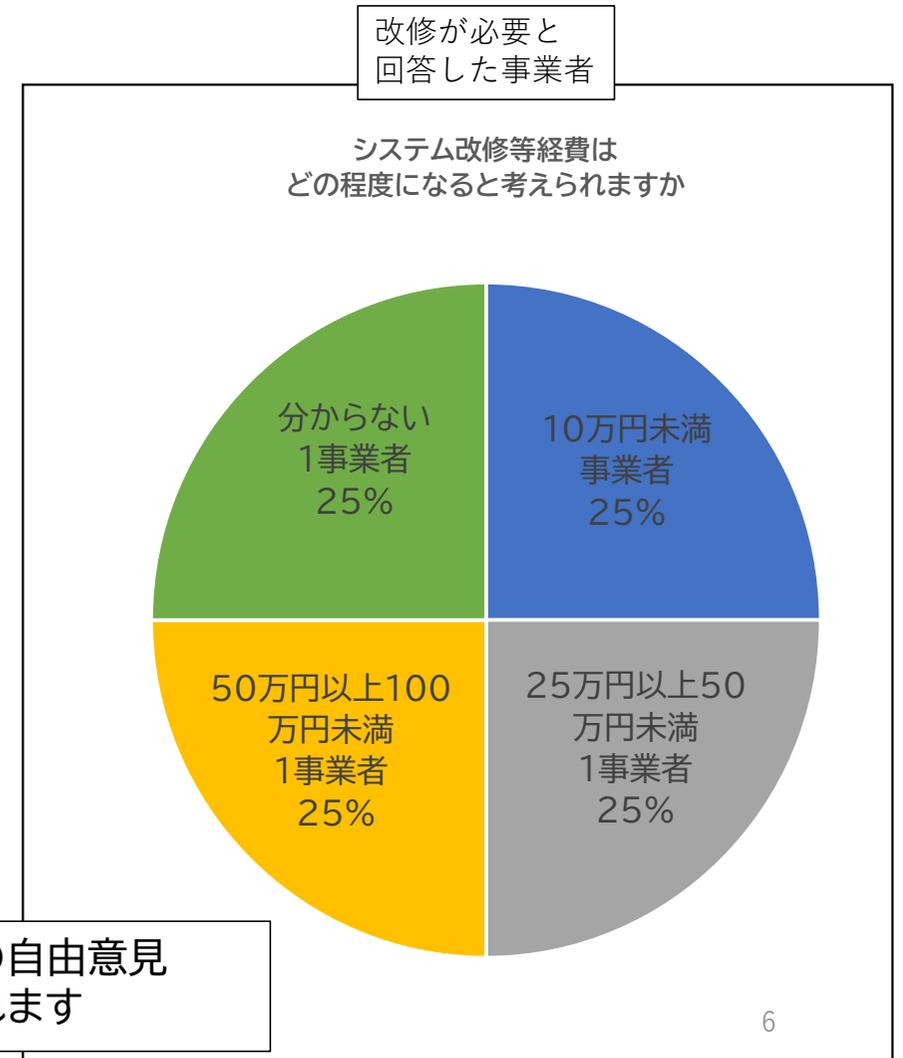
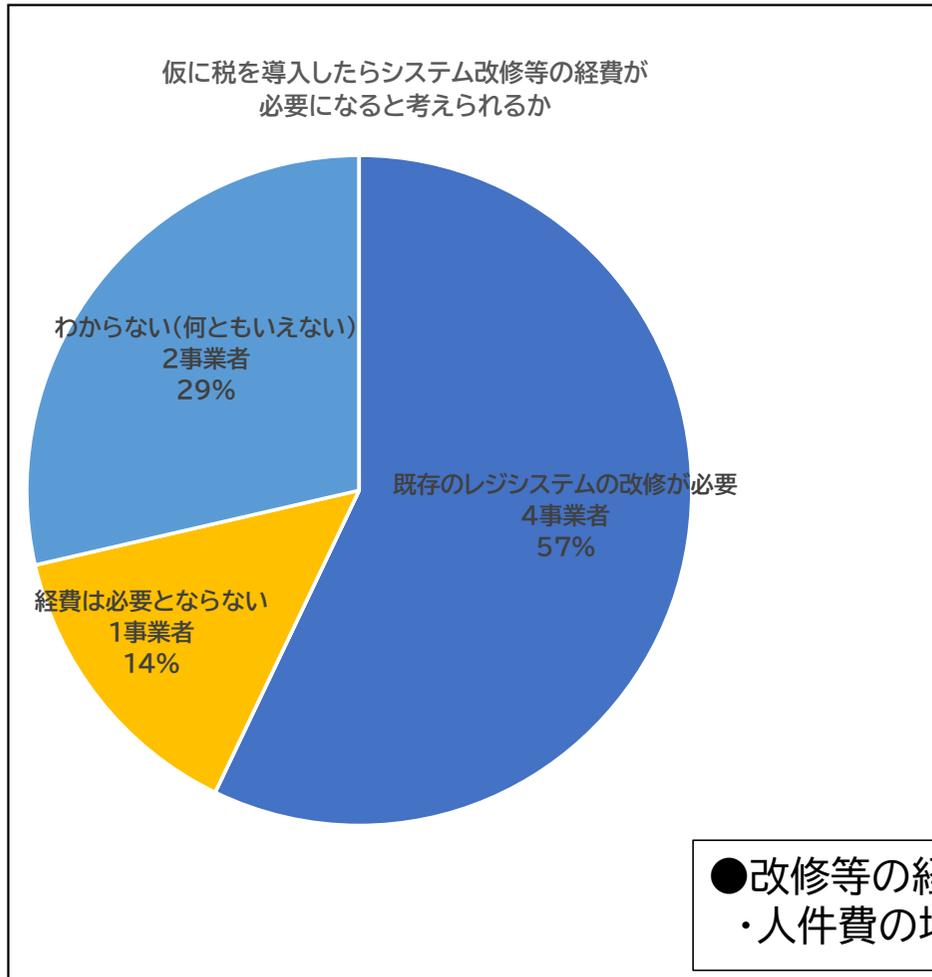
## 宿泊事業者へのアンケート結果



### ●影響についての自由意見

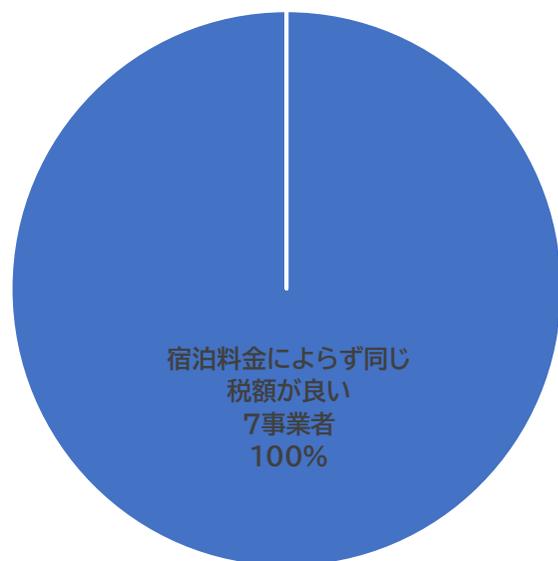
・宿泊者への利便性が上がり、地域の観光価値が向上し、それを宿泊者をご理解いただければ良いのですが、そうでない場合、宿泊客の減少を招く可能性があるかもしれない。

## 宿泊事業者へのアンケート結果



## 宿泊事業者へのアンケート結果

他都市の宿泊税において、宿泊料金により税額が異なることについて



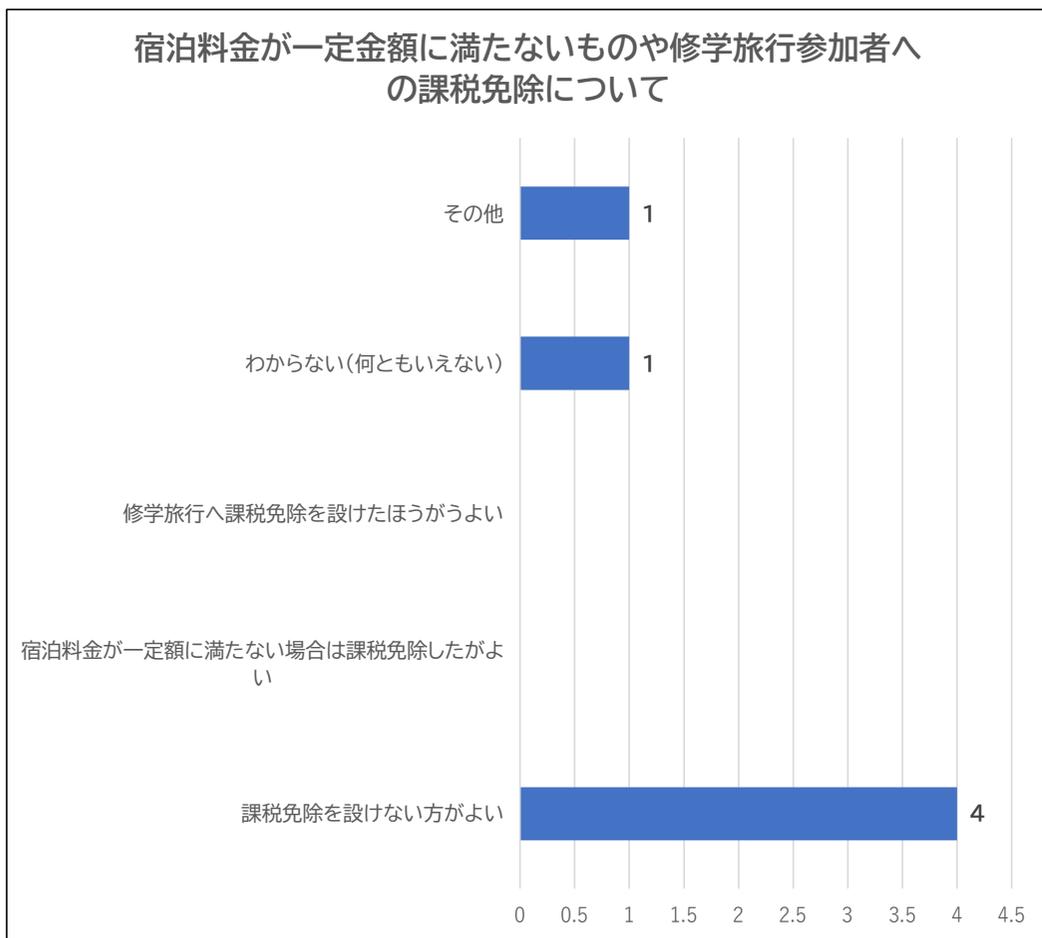
### ●宿泊料金により税額が異なることについての自由意見

- ・パッケージの場合お客様は宿泊代がいくらか知りません。
- ・納税の際、区分が自己申告となり公平性が損なわれる。

### ●設問

宿泊料金によらず同じ税額が良い  
宿泊料金により税額を区分したがよい  
わからない（何ともいえない）  
その他

## 宿泊事業者へのアンケート結果

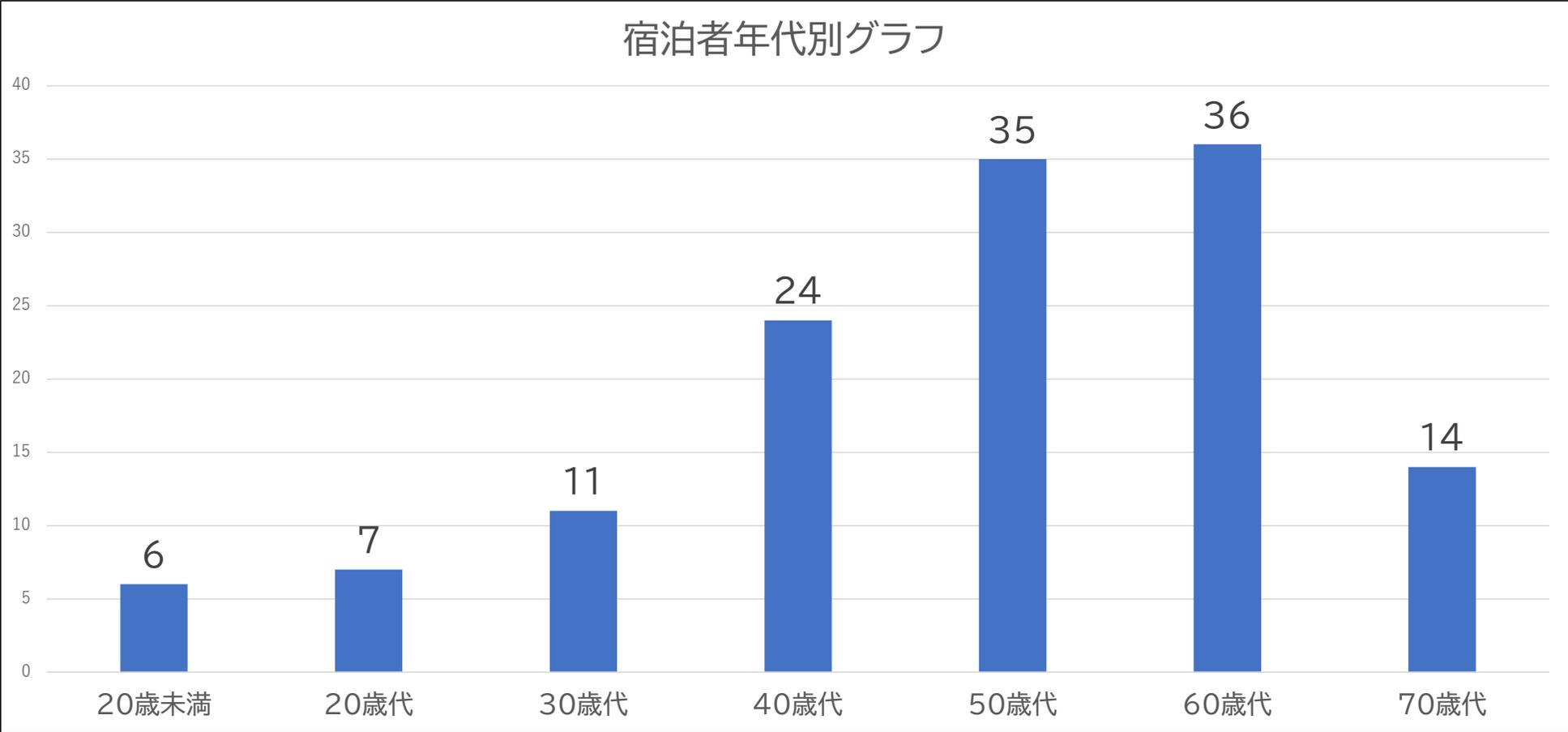


- 課税免除についての自由意見
- ・ 検討を要します。

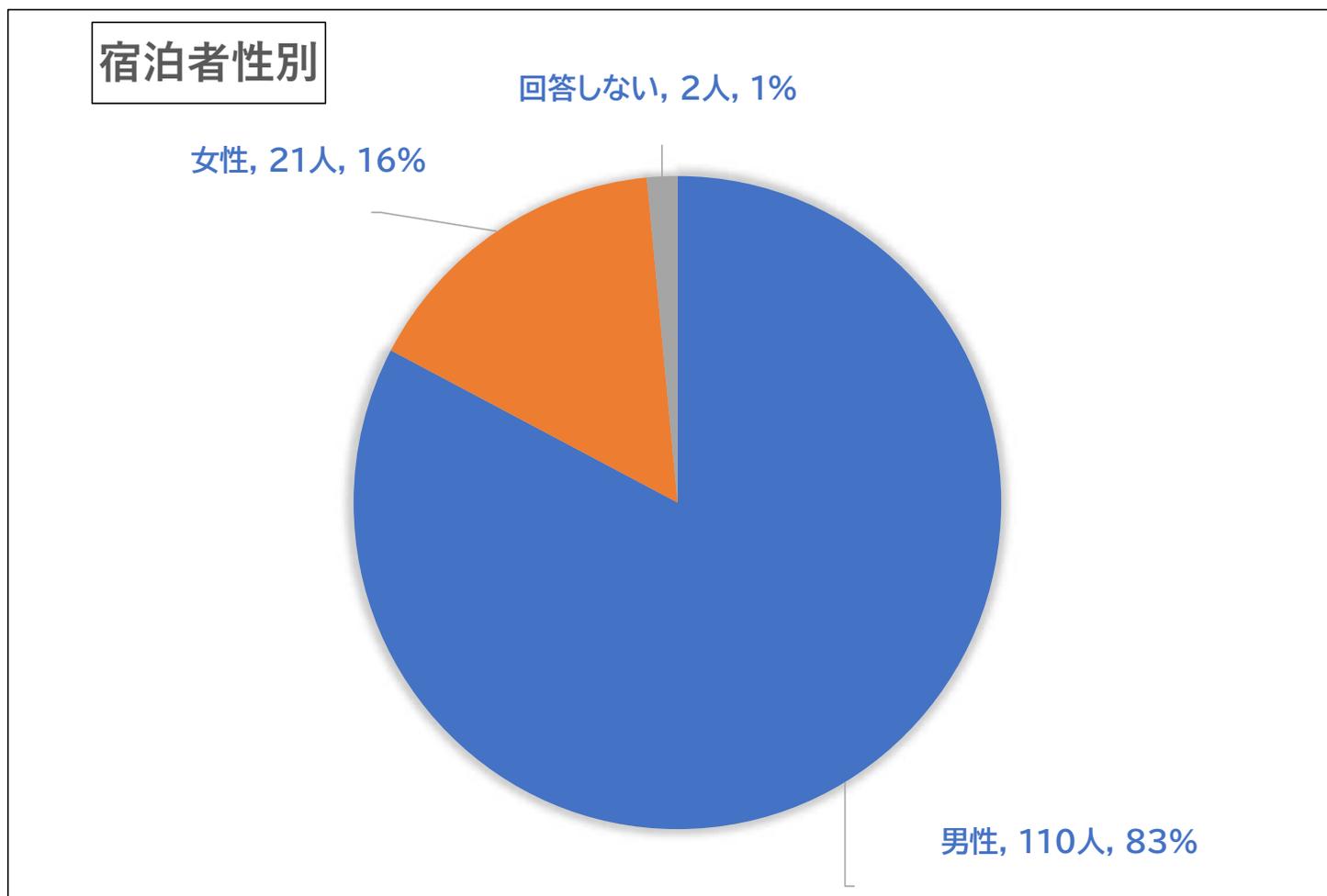
令和6年度 宿泊者へのアンケート結果

■ アンケート期間：令和6年11月26日から12月8日

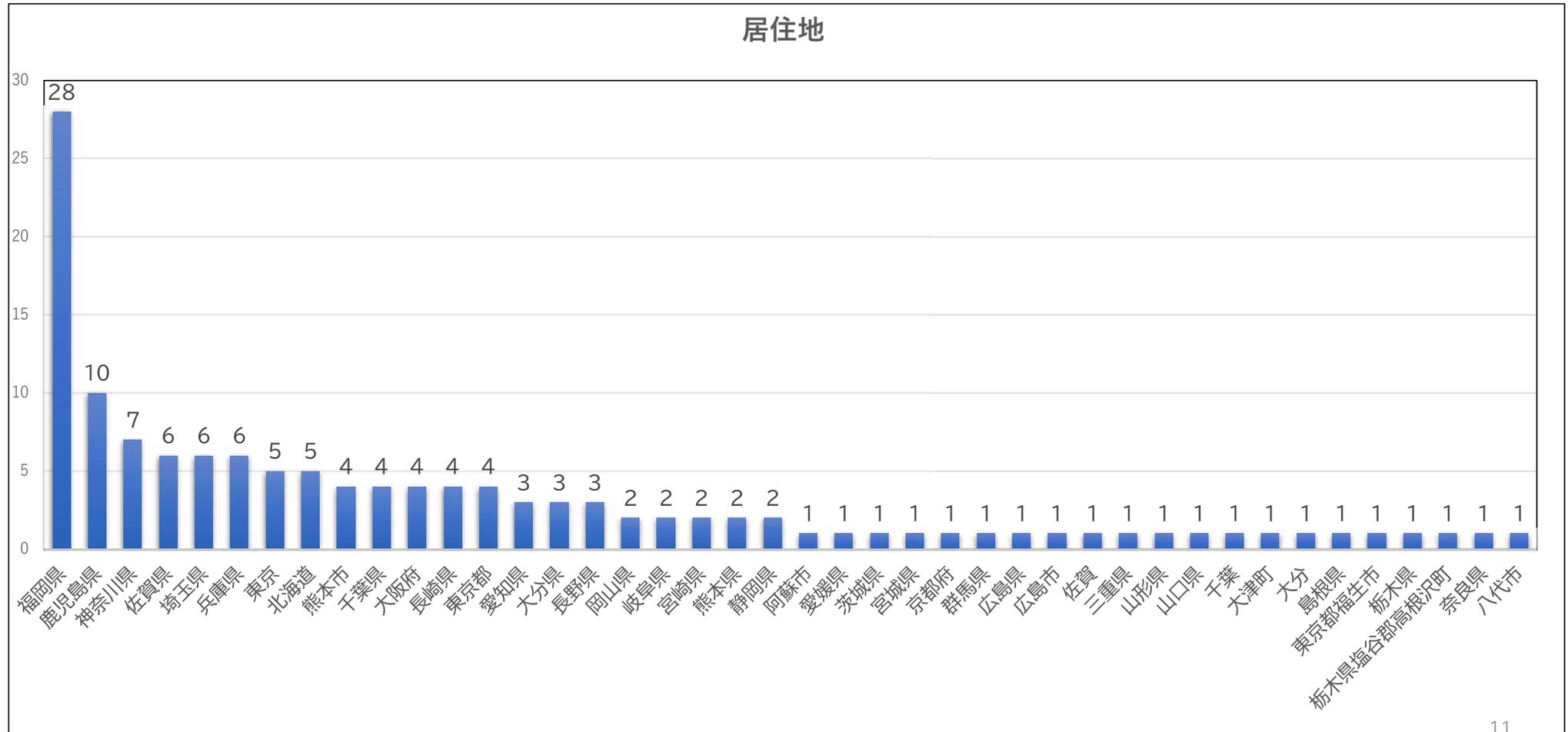
7社宿泊者 133名



## 宿泊者へのアンケート結果

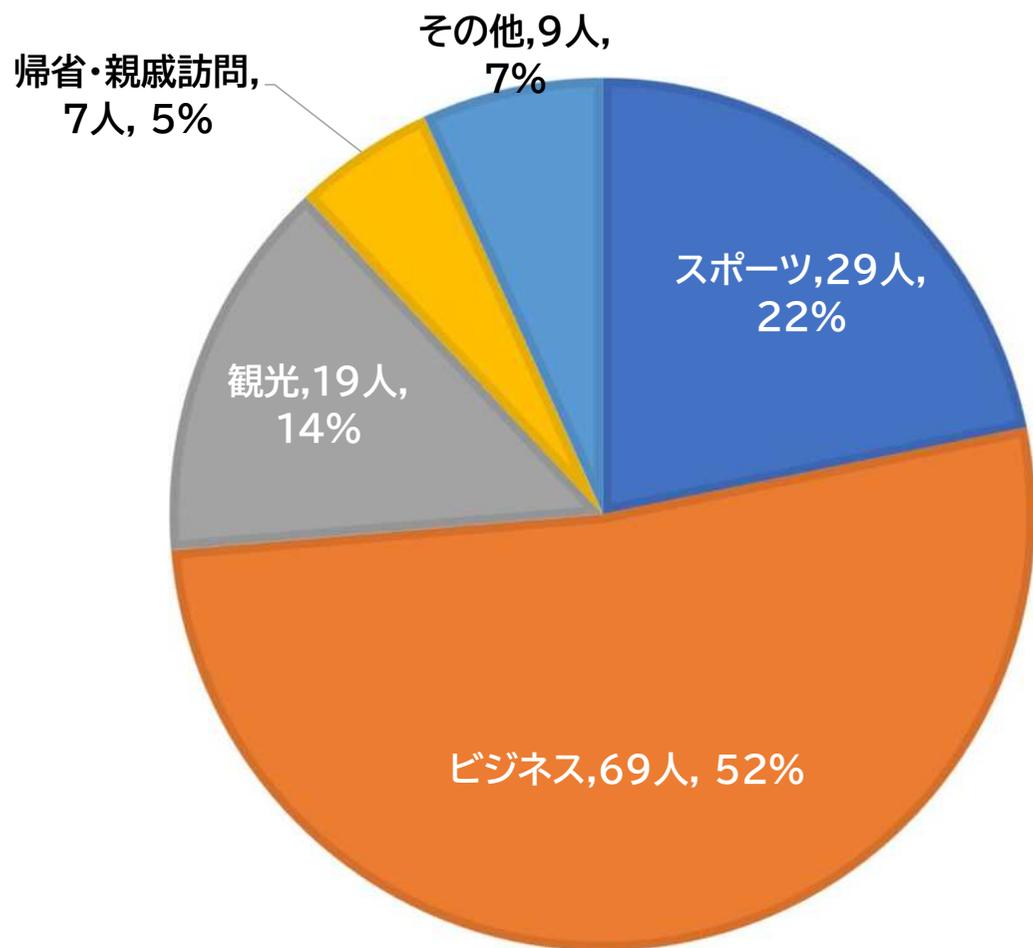


# 宿泊者へのアンケート結果



## 宿泊者へのアンケート結果

主な宿泊目的



### 宿泊客の傾向について

年代別では、50～60歳代が全体の半数を超えており、宿泊者は、男性が110件と全体の83%を占めていました。

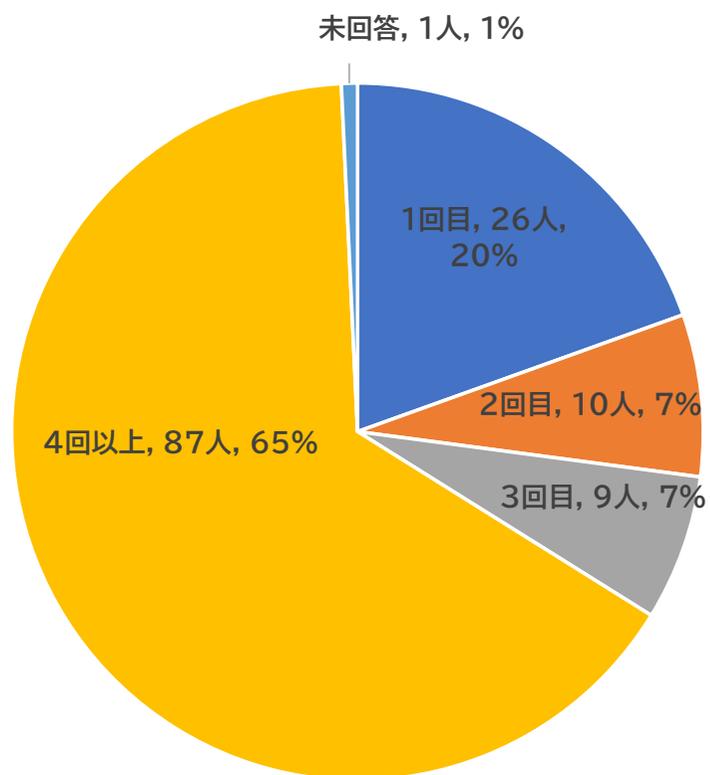
宿泊の目的については、ビジネス(52%)が一番高く、次にスポーツ(22%)、観光(14%)と続いていました。

住まいの地域については、約半数が九州内の出身者でした。

これは、12月1日(日)に日本サッカー協会主催で九州地区のシニアサッカーのイベントが運動公園で開催されたことが大きな要因と思われるので時期によって変わってくると思います。

## 宿泊者へのアンケート結果

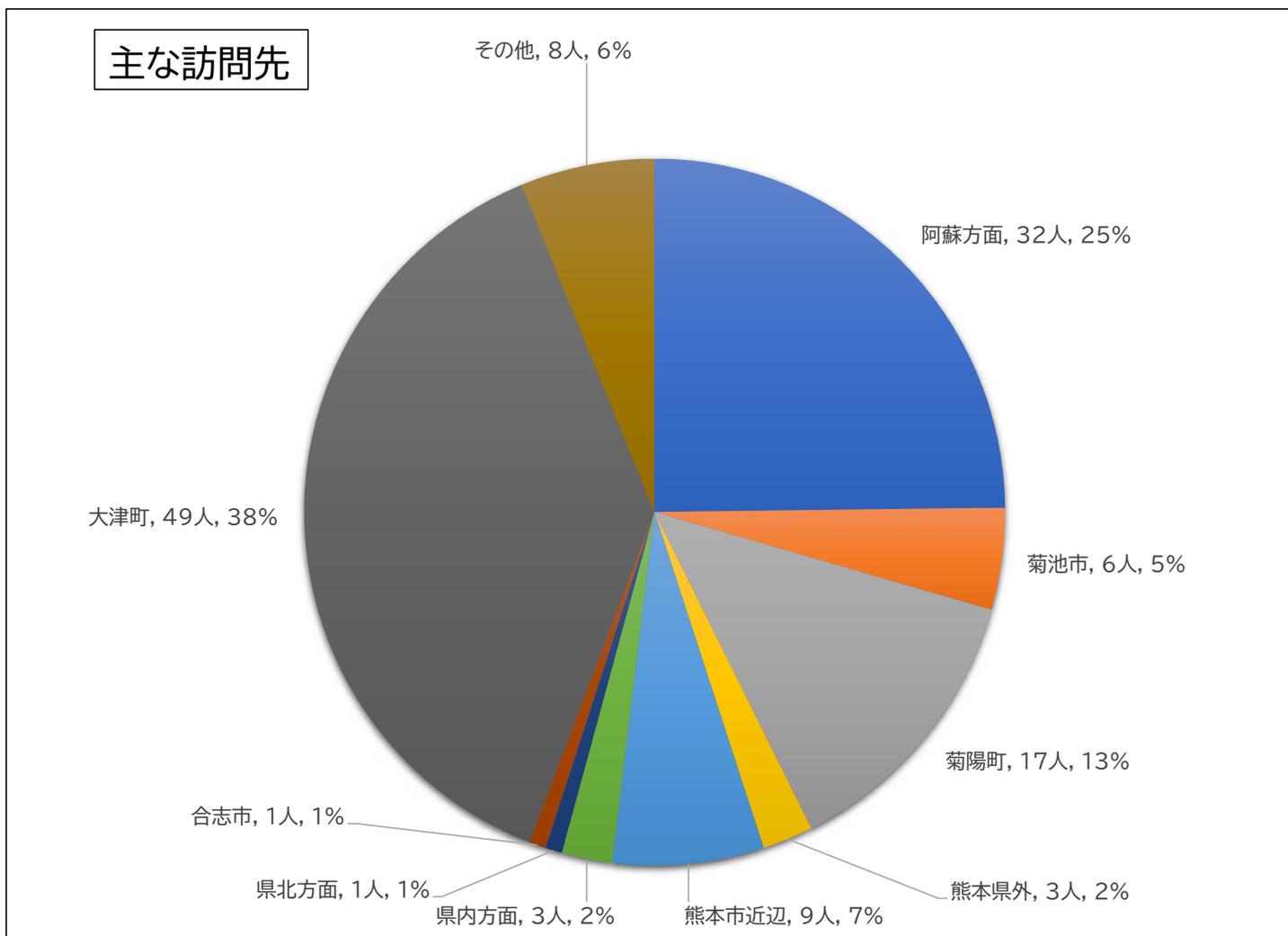
大津町への来訪回数



### 宿泊者の大津町来訪回数について

宿泊者の65%が4回以上大津町に来訪経験があるとの回答であった。このことから継続的に来町される方が多いことが分析できる。

## 宿泊者へのアンケート結果



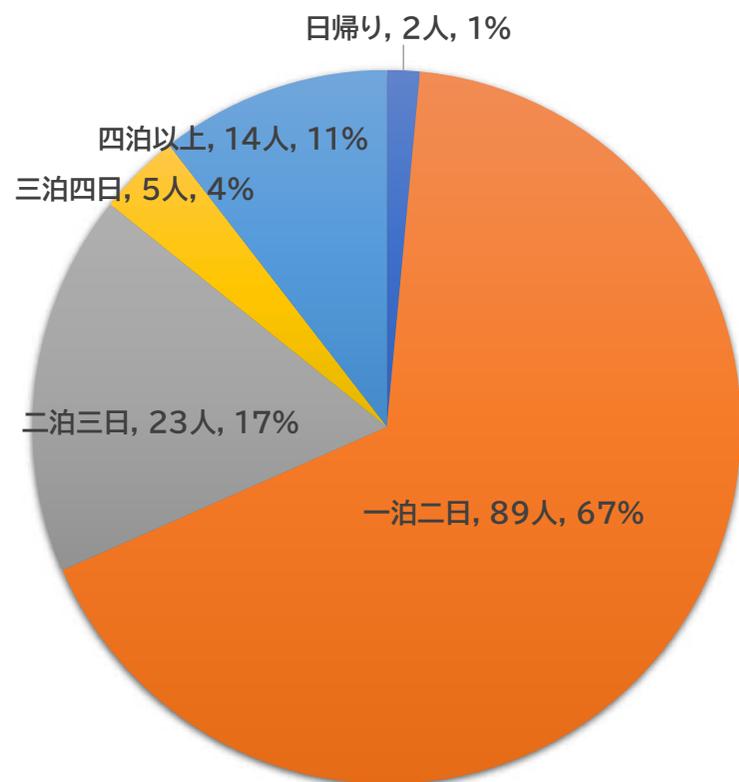
### 主な訪問先について

ビジネスや観光主体の方々は一泊二日であったとしても大津町や熊本市内と複数回答する人が多い傾向でした。

今回の調査では、一つに絞ったため大津町が多くなりましたが、複数回答ありで集計すると熊本市が逆転すると思われます。

## 宿泊者へのアンケート結果

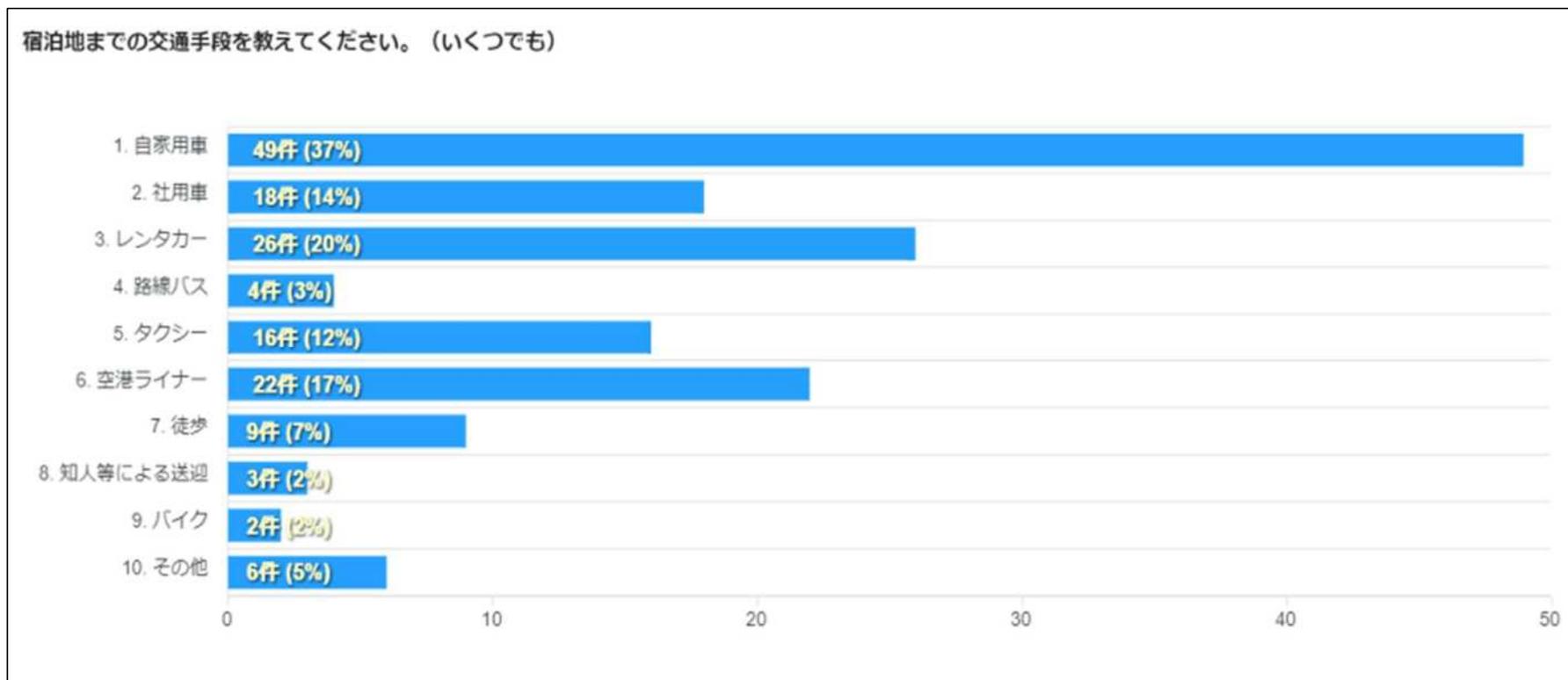
滞在日数



### 宿泊日数について

宿泊日数については、1泊2日(67%)が一番多く、ビジネス、スポーツ、観光と宿泊目的別でもそれぞれ一番多い回答でした。また、4泊以上のビジネス目的の宿泊が複数名おり、一度の宿泊で熊本県各地に行かれているようでした。(主な訪問先に複数の選択肢で回答)

## 宿泊者へのアンケート結果



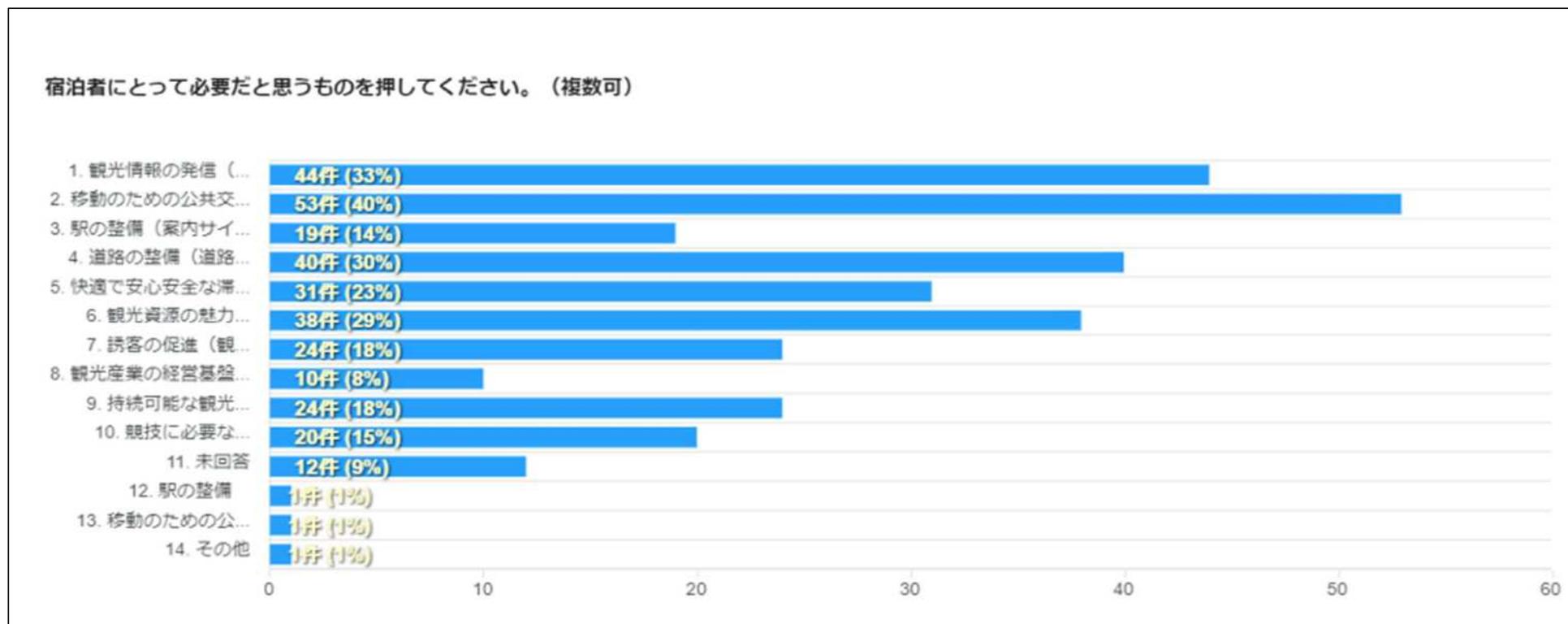
### 交通手段について

九州管内では、自家用車の回答が一番多かったです。

九州外から来られる人々がレンタカーを利用しているようでした。

今回の調査では過半数がルートインホテルからの回答となったため、空港ライナーやその他(電車)から徒歩の割合が高めになっています。

## 宿泊者へのアンケート結果



### 宿泊者にとって必要だと思うもの

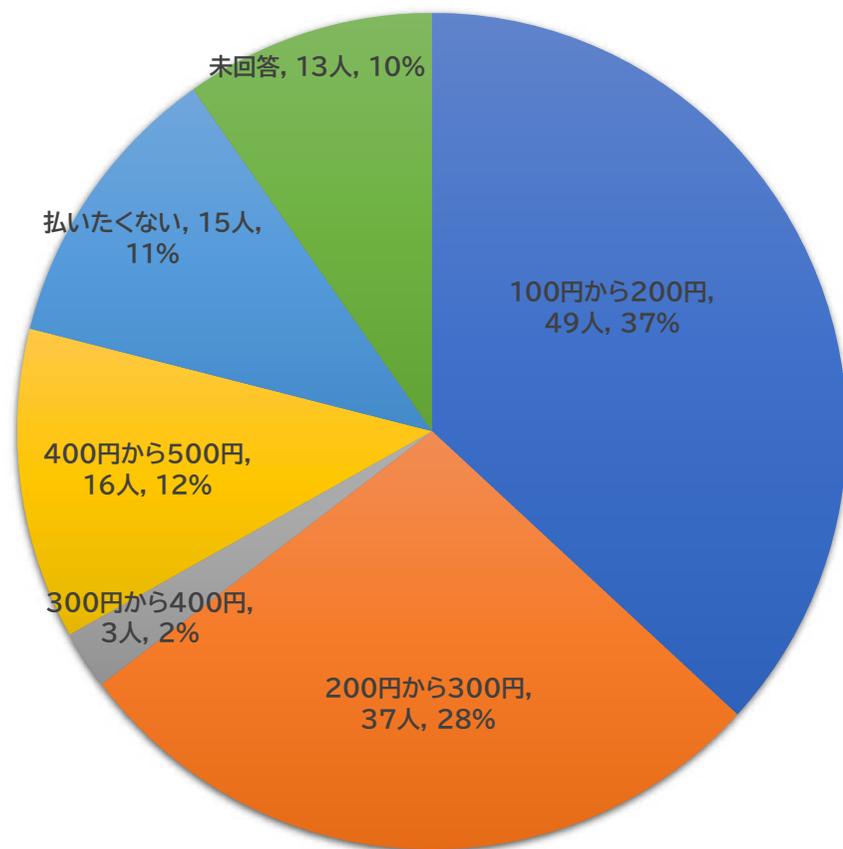
宿泊者が望んでいるものは、移動のための公共交通機関の整備(40%)と一番多く、次に観光情報の発信(33%)、道路の整備(30%)と続いています。

また、書き込み意見として

- ・交通の看板の充実
- ・宿泊施設の充実
- ・レンタル自転車等の気軽な移動手段の拡充がありました。

## 宿泊者へのアンケート結果

宿泊される方のサービス向上にあたり、町が宿泊を徴収することになった場合、払ってもいいと思う金額の上限



### 宿泊税について

宿泊税については、100円～200円(37%)と多く、次に200円～300円(28%)となりました。また、北海道の方など、観光に力を入れている都道府県の方で、400円～500円との回答もありました。

- 一部の書き込みの意見として、下記のとおりありました。
- ・宿泊税の使い道によって払ってもいい金額は変わってくる。
  - ・町の魅力の大きさによって価格は変わるものだと思う